

2022年度(2023年3月期) 第3四半期 決算説明会

2023年 1月 31日
セイコーエプソン株式会社



■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。
なお、業績などに影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

■ 本説明資料における表示方法

- 数値：表示単位未満を切り捨て
- 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度：断りが無い限り、会計年度を示す

- ご説明のポイント
- 第3四半期実績
- 2022年度通期業績予想・株主還元
- トピックス



■ 第3四半期実績(前年同期比)

売上収益 3,612億円(+651億円)、事業利益 312億円(+40億円)、四半期利益 110億円(-139億円)

- 供給制約は改善し販売数量は増加。
部材費・物流費の高騰によるマイナス影響があったものの、価格対応を継続
- 為替変動により売上収益、事業利益でプラス影響を受けた一方、
当期利益は期中のドル安進行による為替差損などのマイナス影響を受ける
- 10/28前回予想の前提となる社内計画に対しては、
売上収益は未達、事業利益は計画を若干上回る

■ 2022年度 通期業績予想(10/28前回予想比)

売上収益 13,300億円(-600億円)、事業利益 950億円(-50億円)、当期利益 670億円(-150億円)

- 前回予想に対して、インフレ継続による消費冷え込みや中国のコロナ影響など、
世界経済のさらなる減速を織り込む
- 下期の為替差損などを当期利益に反映

- ご説明のポイント
- **第3四半期実績**
- 2022年度通期業績予想・株主還元
- トピックス



2022年度第3四半期決算 | ハイライト

(億円)	2021年度		2022年度		対前年同期	
	Q3実績	%	Q3実績	%	増減額	増減率
売上収益	2,961		3,612		+651	+22.0%
事業利益	272	9.2%	312	8.6%	+40	+14.7%
営業利益	303	10.2%	233	6.5%	-69	-22.9%
税引前利益	311	10.5%	165	4.6%	-146	-46.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	250	8.4%	110	3.1%	-139	-55.8%
EPS*1 (円)	72.30		32.76			
為替レート (円、指数)	USD	¥113.71	¥141.55			
	EUR	¥130.08	¥144.23			
	その他通貨*2	100	116			

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
売上収益	+235	+57	+143	+437
事業利益	-93	+35	+68	+10

*1 EPS:基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前年同期を100とした指数

2022年度 第3四半期実績 | プリンティングソリューションズ(1)

プリンティングソリューションズ	2021年度 Q3実績	2022年度 Q3実績
売上収益	2,053	2,490
セグメント利益	308	273
セグメント利益率	15.0%	11.0%

オフィス・ホームプリンティング	2021年度 Q3実績	2022年度 Q3実績
売上収益	1,503	1,844
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)	1,195	1,499
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)	132	154
その他*	175	190
事業利益	229	173
事業利益率	15.3%	9.4%

*スキャナー、SIDM、LP、オフィス製紙機など

(億円)

増減額	内為替 影響額	増減率
+437	+303	+21.3%
-35	-15	-11.5%

増減額	内為替 影響額	増減率
+341	+223	+22.7%
+304		+25.5%
+21		+16.2%
+15		+8.8%
-56	-31	-24.6%

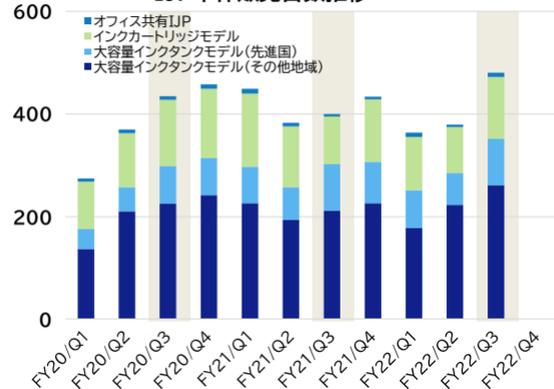
■ プリンティングソリューションズ

- 供給制約改善で販売数量増加、価格対応、為替影響もあり増収
- 部材費・物流費の高騰、ドル高によるマイナス影響で減益

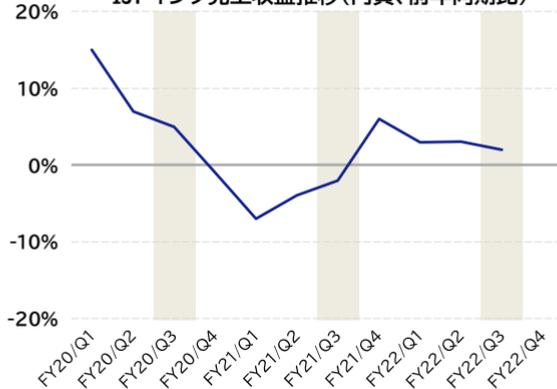
■ オフィス・ホームプリンティング

- IJP本体は販売数量+20%、価格対応、為替影響により増収
- IJPインク売上収益は+2%(現地通貨ベース-8%)、インクカートリッジ販売減少、大容量インクボトル増加
- 部材費、物流費の高騰影響、ドル高によるマイナス影響により減益

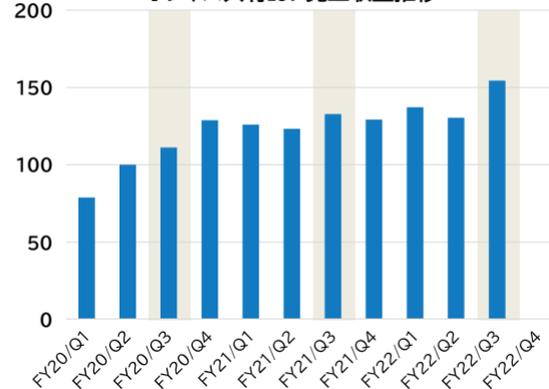
(万台) IJP本体販売台数推移



IJPインク売上収益推移(円貨、前年同期比)



(億円) オフィス共有IJP売上収益推移

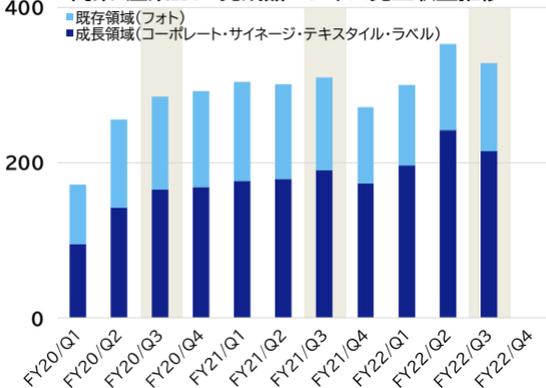


商業・産業プリンティング	2022年度 Q3実績		(億円)		
	2021年度 Q3実績	2022年度 Q3実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	550	646	+96	+80	+17.6%
商業・産業IJP	391	424	+32		+8.3%
小型プリンター他	158	222	+64		+40.6%
事業利益	79	100	+20	+16	+26.3%
事業利益率	14.4%	15.5%			

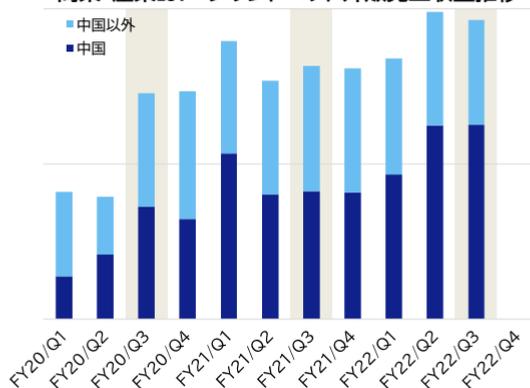
■ 商業・産業プリンティング

- 商業・産業IJP完成品ビジネスは、為替影響もあり成長領域中心に売上伸長
- プリントヘッド外販ビジネスは、輸出も手掛ける中国の印刷機メーカーの引き合い強い
- 小型プリンター他は、供給制約の改善が進み増収
- 事業利益は、部材費・物流費の高騰影響を受けたものの増収により増益

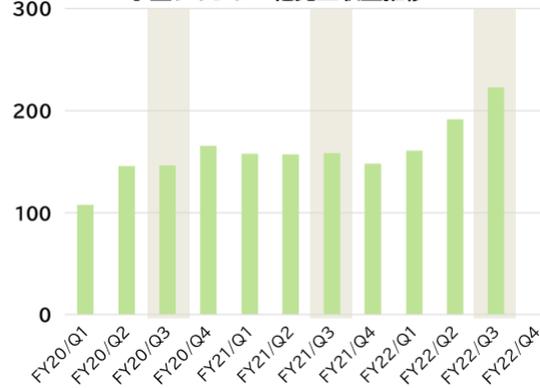
(億円) 商業・産業IJP:完成品ビジネス売上収益推移



商業・産業IJP:プリントヘッド外販売上収益推移



(億円) 小型プリンター他売上収益推移



ビジュアルコミュニケーション	2022年度 Q3実績		2021年度 Q3実績		増減率	
	増減額	内為替影響額	増減額	内為替影響額	増減率	増減率
売上収益	436	601	+164	+81	+37.6%	+141.1%
セグメント利益	40	97	+56	+12		
セグメント利益率	9.2%	16.2%				

(億円)

■ ビジュアルコミュニケーション

- 欧米の教育向けを中心に需要は堅調
- モデルミックス改善、価格対応、為替影響により増収・増益

◆ プロジェクターの販売動向*1	2022年度 Q3実績		2021年度 Q3実績	
	売上収益(円貨)	+6%	+40%	
売上収益(現地通貨)	-2%	+21%		
販売台数	-5%	+4%		

*1 社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

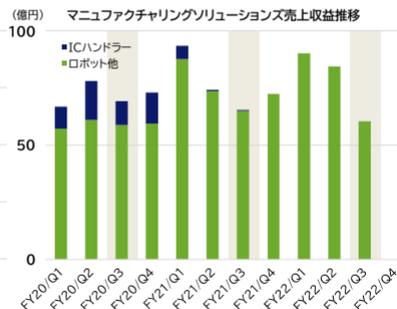
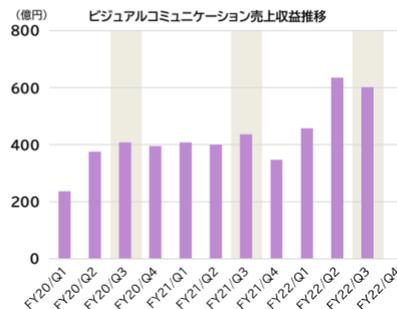
■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

- マイクロデバイス他が牽引、為替影響もあり増収・増益
 - ・ マニファクチャリングソリューションズは、中国向けが軟調
 - ・ ウェアラブル機器は、国内市場は回復も海外市場が軟調
 - ・ マイクロデバイス他は、水晶デバイスの一部で需要減少も、半導体需要が堅調に推移

マニファクチャリング関連 ・ウェアラブル	2022年度 Q3実績		2021年度 Q3実績		増減率	
	増減額	内為替影響額	増減額	内為替影響額	増減率	増減率
売上収益	474	527	+53	+55	+11.2%	+11.2%
マニファクチャリングソリューションズ*2	65	60	-4		-7.5%	
ウェアラブル機器	91	93	+1		+1.9%	
マイクロデバイス他	275	325	+50		+18.3%	
PC	49	56	+7		+14.4%	
事業間売上収益	-8	-9	-1		-	
セグメント利益	61	76	+15	+15	+25.5%	+25.5%
セグメント利益率	12.9%	14.5%				

(億円)

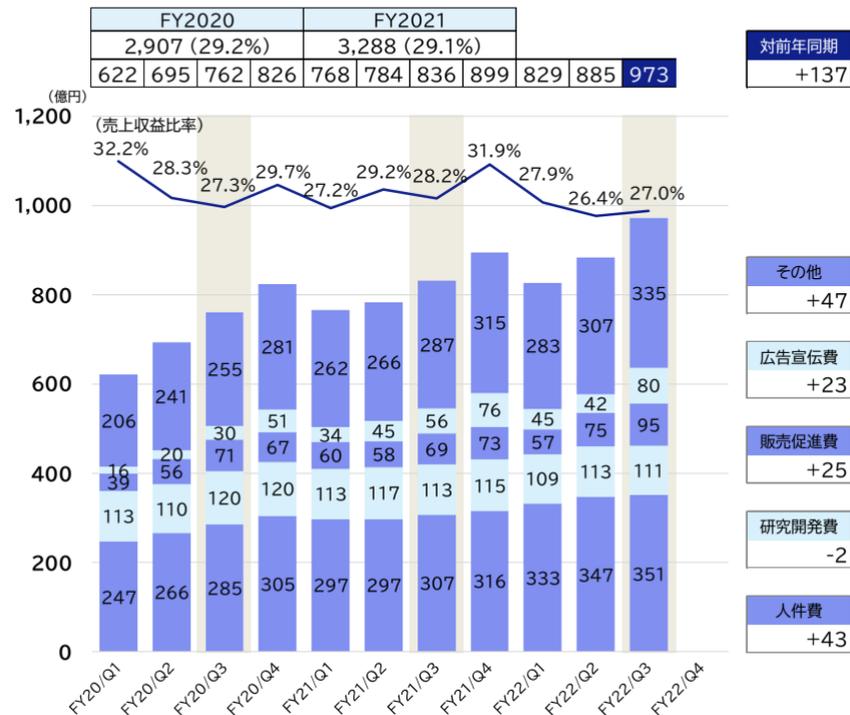
*2 ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡



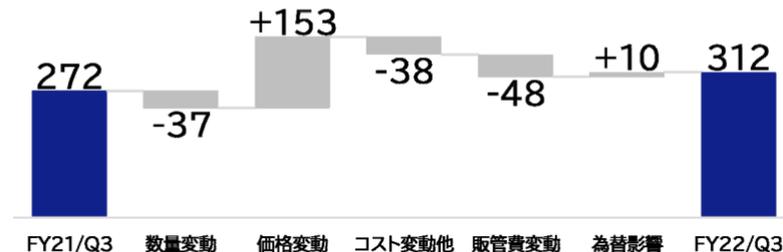
第3四半期実績 | 販売費及び一般管理費推移・事業利益増減要因

販管費変動：主に為替影響(+88億円)により増加

販売費及び一般管理費推移



事業利益の変動要因 (億円)



数量変動

- + プロジェクター、大容量インクタンクモデル、プリントヘッド、小型プリンター、半導体など
- IJPインクカートリッジ、商業・産業IJPフォト領域など

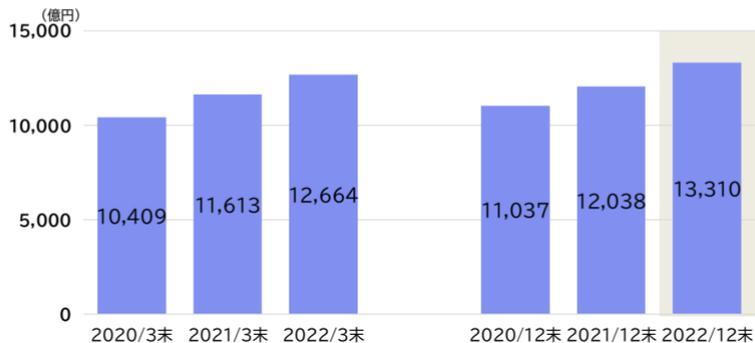
価格変動

- + プロジェクター、オフィス・ホームIJP、半導体・水晶デバイス、商業・産業IJP、小型プリンターなど

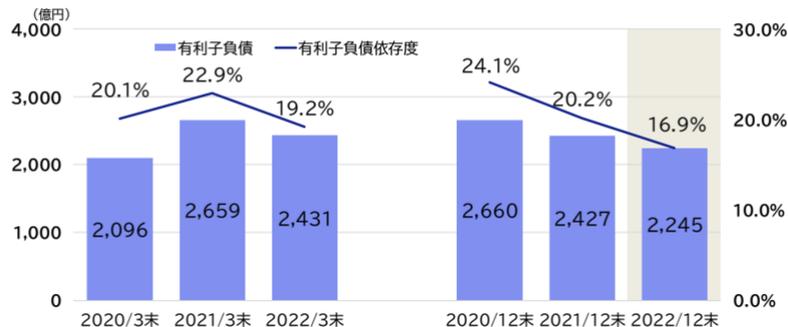
コスト変動他

- + 在庫影響など
- 部材費・物流費の増加など

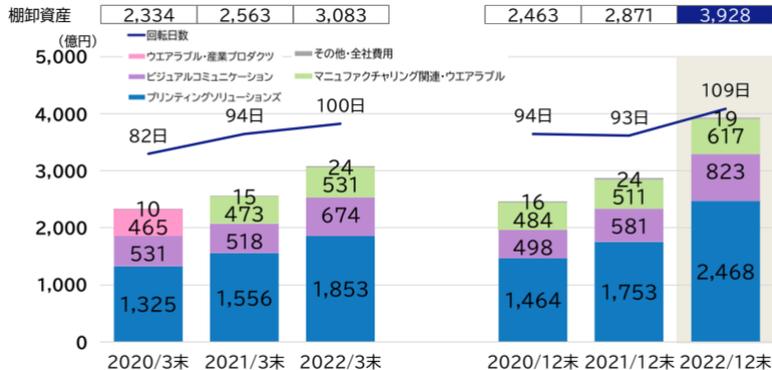
資産合計



有利子負債・有利子負債依存度



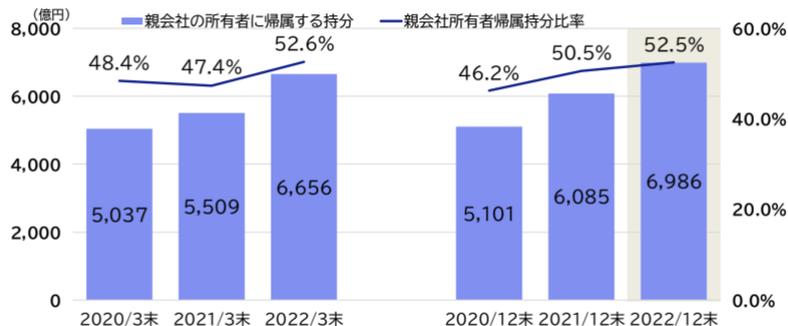
棚卸資産・回転日数



ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



*回転日数(3月末) = 連結会計期間末棚卸資産残高 / 連結会計期間末直前12ヶ月間の1日当たり売上収益
 *回転日数(12月末) = 連結会計期間末棚卸資産残高 / 連結会計期間末直前9ヶ月間の1日当たり売上収益

- ご説明のポイント
- 第3四半期実績
- 2022年度通期業績予想・株主還元
- トピックス

2022年度 通期業績予想 | ハイライト

	2021年度		2022年度				増減額/増減比		
	(億円)	実績	%	10/28予想	%	今回予想	%	対前期	対10/28予想
売上収益		11,289		13,900		13,300		+2,010 +17.8%	-600 -4.3%
事業利益		896	7.9%	1,000	7.2%	950	7.1%	+53 +6.0%	-50 -5.0%
営業利益		944	8.4%	1,080	7.8%	940	7.1%	-4 -0.5%	-140 -13.0%
税引前利益		971	8.6%	1,170	8.4%	960	7.2%	-11 -1.2%	-210 -17.9%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		922	8.2%	820	5.9%	670	5.0%	-252 -27.4%	-150 -18.3%
EPS* ¹ (円)		266.73		240.11		200.89			
為替レート (円、指数)	USD	¥112.37		¥137.00		¥134.00			
	EUR	¥130.55		¥138.00		¥140.00			
	その他通貨* ²	100		114		113			

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ポリュームに応じて加重平均した値について、前期を100とした指数

*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額（億円）
その他通貨は1%の円高による年間影響額（億円）

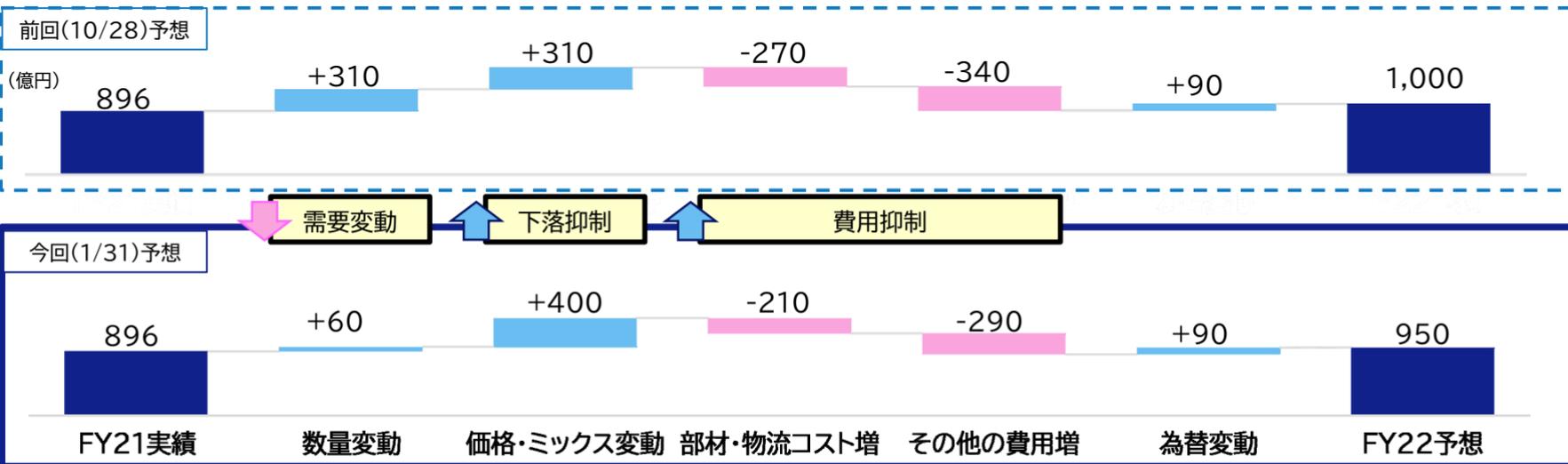
第4四半期以降の 為替前提(円)	USD	127.00	為替感応度* ³ (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	年間為替 影響額見込み
		EUR	138.00	売上収益	-32	-14	-35
			事業利益	+7	-9	-17	+90

第3四半期から第4四半期にかけての環境変化

	1-2Q 実績	3Q 実績	4Q 予想	環境変化
需要				<ul style="list-style-type: none"> ✓ インフレ継続による消費冷え込みや中国のコロナ影響など、世界経済の減速リスクは高まる ✓ IJPは主に北米のチャネルで在庫抑制の動きも見られる
供給 制約				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 半導体調達難の改善が進む ✓ 物流混乱は概ね解消
コスト				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 部材高騰のペースは鈍化 ✓ 積載率向上などにより物流費の抑制を継続 ✓ 利益確保に向けた費用コントロールは継続

<前回予想からの変化>

- 景気減速リスクの高まりによる需要減、IJPでは北米などのチャンネル在庫抑制も織り込む
- 販売価格は足元の状況を踏まえ、価格下落抑制を見込む
- 部材・物流コストの費用抑制、メリハリをつけた費用執行、固定費抑制を継続



2022年度通期業績予想 | プリンティングソリューションズ

プリンティングソリューションズ	2021年度 実績	2022年度 10/28予想	2022年度 今回予想			(億円)
				対前期 増減額	対前期 増減率	対10/28 予想
売上収益	7,799	9,500	9,070	+1,270	+16.3%	-430
セグメント利益	1,064	1,030	950	-114	-10.8%	-80
セグメント利益率	13.7%	10.8%	10.5%			

オフィス・ホームプリンティング	2021年度 実績	2022年度 10/28予想	2022年度 今回予想			対10/28 予想
				対前期 増減額	対前期 増減率	
売上収益	5,663	6,890	6,570	+906	+16.0%	-320
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)	4,453	5,410	5,210	+756	+17.0%	-200
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)	511	670	640	+128	+25.1%	-30
その他*	698	810	720	+21	+3.0%	-90
事業利益	730	670	610	-120	-16.5%	-60
事業利益率	12.9%	9.7%	9.3%			

*スキャナー、SIDM、LP、オフィス製紙機など

商業・産業プリンティング	2021年度 実績	2022年度 10/28予想	2022年度 今回予想			対10/28 予想
				対前期 増減額	対前期 増減率	
売上収益	2,136	2,610	2,500	+363	+17.0%	-110
商業・産業IJP	1,515	1,800	1,680	+164	+10.8%	-120
小型プリンター他	620	810	820	+199	+32.1%	+10
事業利益	333	360	340	+6	+1.8%	-20
事業利益率	15.6%	13.8%	13.6%			

■ オフィス・ホームプリンティング

- ・オフィス・ホームIJP本体は景気減速、北米などチャネル在庫抑制の動きを織り込む。販売数量は下方修正するものの価格対応を継続
- ・インクは、インクカートリッジの在宅印刷需要の減少を反映

■ 商業・産業プリンティング

- ・中国でのコロナ影響による市場の冷え込みや欧米顧客の投資先送りなど、下期の環境変化を織り込む

◆ 販売動向(社内管理値に基づく指標)		FY21 実績	FY22 10/28予想	FY22 今回予想
オフィス・ホームIJP	伸長率	+8%	+8%	+5%
本体販売数量	約、万台	1,670	1,800	1,750
内 大容量インクタンクモデル		1,160	1,330	1,280
内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル		480	440	440
内 オフィス共有IJP		30	30	30
オフィス・ホームIJP	(円貨)	-2%	+8%	+2%
インク売上収益伸長率	(現地通貨)	-6%		

ビジュアルコミュニケーション	(億円)					
	2021年度 実績	2022年度 10/28予想	2022年度 今回予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対10/28 予想
売上収益	1,590	2,180	2,150	+559	+35.2%	-30
セグメント利益	153	250	310	+156	+101.9%	+60
セグメント利益率	9.7%	11.5%	14.4%			

■ ビジュアルコミュニケーション

- 売上収益は供給制約が生じた第3四半期の実績を踏まえて下方修正
- 価格対応や費用抑制によりセグメント利益は上方修正

◆ プロジェクターの販売動向^{*1}

	2021年度 実績	2022年度 10/28予想	2022年度 今回予想
販売台数(約、万台)	170	190	190
伸長率	+2%	+9%	+10%

^{*1}社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

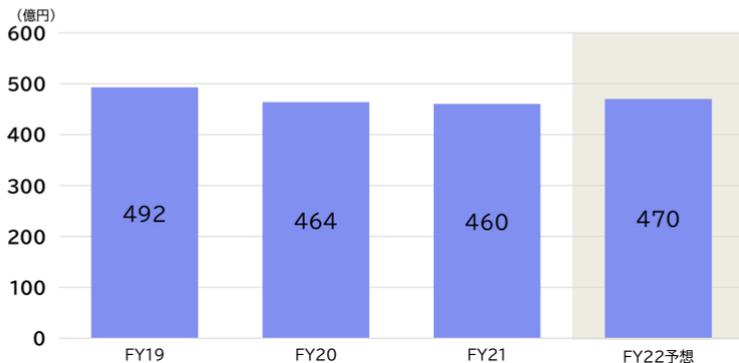
マニュファクチャリング関連 ・ウェアラブル	(億円)					
	2021年度 実績	2022年度 10/28予想	2022年度 今回予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対10/28 予想
売上収益	1,919	2,260	2,120	+200	+10.4%	-140
マニュファクチャリングソリューションズ ^{*2}	305	330	290	-15	-4.9%	-40
ウェアラブル機器	346	370	360	+13	+3.9%	-10
マイクロデバイス他	1,109	1,400	1,300	+190	+17.2%	-100
PC	189	200	210	+20	+10.5%	+10
事業間売上収益	-30	-40	-40	-9	-	-
セグメント利益	230	310	260	+29	+12.9%	-50
セグメント利益率	12.0%	13.7%	12.3%			

■ マニュファクチャリング関連・ウェアラブル

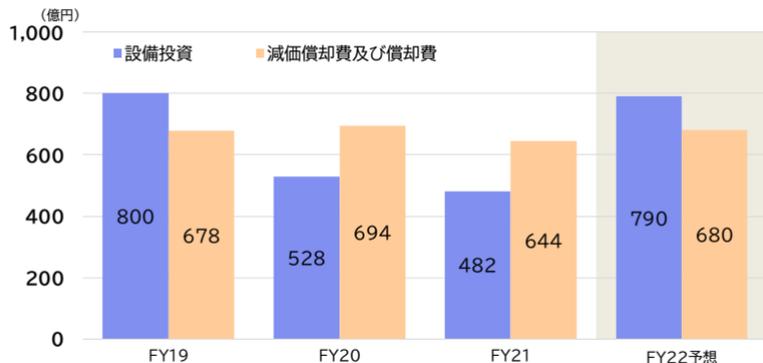
- マニュファクチャリングソリューションズは、民生機器の製造に用いる中国向けのさらなる減速を織り込む
- ウェアラブル機器は海外市況の変化を織り込む
- マイクロデバイス他は、水晶デバイスを中心に民生市場などの減速を織り込む

^{*2} ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

研究開発費



設備投資・減価償却費及び償却費



フリー・キャッシュ・フロー



主要経営指標	FY19 実績	FY20 実績	FY21 実績	FY22 予想	FY23 目標	FY25 目標
為替レート:USD	108.74	106.01	112.37	134.00	-	-
為替レート:EUR	120.85	123.67	130.55	140.00	-	-
売上収益 (億円)	10,436	9,959	11,289	13,300	-	-
事業利益 (億円)	408	616	896	950	-	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (億円)	77	309	922	670	-	-
ROS ^{*1}	3.9	6.2	7.9	7.1%	8%以上	10%以上
ROA ^{*2}	3.9	5.6	7.4	7.4%	-	-
ROE ^{*3}	1.5	5.9	15.2	9.9%	10%以上	13%以上
ROIC ^{*4}	4.1	5.6	7.3	7.3%	8%以上	11%以上

*1 売上収益事業利益率=事業利益/売上収益

*2 資産合計事業利益率=事業利益/期首・期末資産合計平均

*3 親会社所有者帰属持分当期利益率=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均

*4 投下資本利益率=税引後事業利益/(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

■ 基本方針

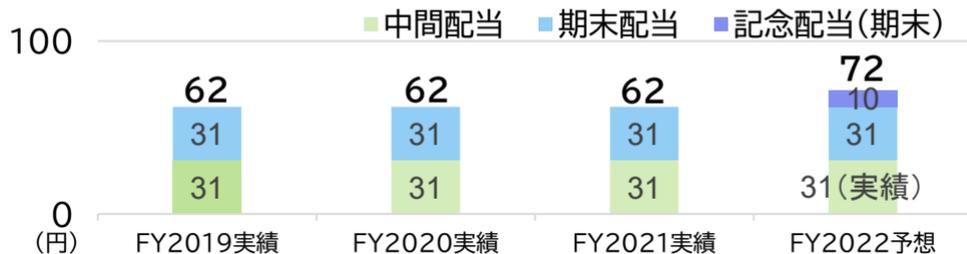
- 強固な財務構造の構築と、積極的な利益還元と並行して取り組む
 - ✓ 中期的には連結配当性向*40%程度を目標 * 事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出
 - ✓ 株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に自己株式を取得

■ 自己株式取得

- 取得期間:2022年5月20日～2023年5月19日
- 取得価額の総額:300億円(上限)
 - ✓ 2023年1月16日をもって上限金額に達し取得終了
 - ✓ 期間内に取得した自己株式は全株式を消却する方針

■ 配当実績・予想

- 創業80周年記念配当10円を加え年間配当を72円に増額



- ご説明のポイント
- 第3四半期実績
- 2022年度通期業績予想・株主還元
- **トピックス**

オフィス向けラインインクジェット複合機を発売



- 複合機のボリュームゾーンである中速帯の商品投入
- 環境負荷を低減し脱炭素社会の実現に貢献

Heat-Free
Technology



PRECISIONCORE
HEAT-FREE

熱を使わずにインクを吐出し、
低消費電力を実現するインクジェット技術

<中速帯 新ラインアップ>
LM-C4000(40枚/分)
LM-C5000(50枚/分)
LM-C6000(60枚/分)

ドライファイバーテクノロジーが拓く未来

- 乾式オフィス製紙機「PaperLab」
新コンセプトモデルを発表



「エコプロ2022」で世界初公開

- 繊維・アパレル業界の課題解決に貢献

衣類製造過程で
生じるコットン端材を
包装材に



ウオッチ商品の包装材として実用化



© Luca Tombolini × Yuiima Nakazato

使用済み衣服から新たに生み出した不織布を使用

YUIMA NAKAZATO
古着からアップサイクルした
新コレクション制作を
サポート

EPSON
EXCEED YOUR VISION

補足資料

2022年度 第3四半期累計実績 | ハイライト

	2021年度		2022年度		対前年同期		
	(億円)	Q3累計実績	%	Q3累計実績	%	増減額	増減率
売上収益		8,467		9,944		+1,476	+17.4%
事業利益		769	9.1%	807	8.1%	+37	+4.9%
営業利益		784	9.3%	825	8.3%	+40	+5.2%
税引前利益		790	9.3%	882	8.9%	+92	+11.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		615	7.3%	614	6.2%	-0	-0.1%
EPS*1 (円)		177.79		179.35			
為替レート (円、指数)	USD	¥111.08		¥136.49			
	EUR	¥130.58		¥140.54			
	その他通貨*2	100		116			

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
売上収益	+641	+113	+425	+1,180
事業利益	-206	+70	+198	+62

*1 EPS:基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて
加重平均した値について、前年同期を100とした指数

2022年度 第3四半期累計実績 | プリンティングソリューションズ

(億円)

プリンティングソリューションズ	2021年度 Q3累計	2022年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	5,809	6,622	+813	+793	+14.0%
セグメント利益	859	670	-188	-16	-22.0%
セグメント利益率	14.8%	10.1%			

オフィス・ホームプリンティング	2021年度 Q3累計	2022年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	4,173	4,787	+614	+576	+14.7%
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)	3,263	3,837	+574		+17.6%
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)	381	421	+39		+10.5%
その他*	527	528	+0		+0.1%
事業利益	565	439	-125	-58	-22.3%
事業利益率	13.5%	9.2%			

*スキャナー、SIDM、LP、オフィス製紙機など

商業・産業プリンティング	2021年度 Q3累計	2022年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,636	1,835	+199	+218	+12.2%
商業・産業IJP	1,162	1,260	+97		+8.4%
小型プリンター他	473	574	+101		+21.4%
事業利益	294	231	-62	+41	-21.4%
事業利益率	18.0%	12.6%			

2022年度 第3四半期累計実績

ビジュアルコミュニケーション
マニファクチャリング関連・ウェアラブル

EPSON
EXCEED YOUR VISION

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2021年度 Q3累計	2022年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,243	1,693	+449	+223	+36.1%
セグメント利益	132	288	+155	+22	+117.6%
セグメント利益率	10.7%	17.0%			

(億円)

マニファクチャリング関連 ・ウェアラブル	2021年度 Q3累計	2022年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,428	1,659	+231	+174	+16.2%
マニファクチャリングソリューションズ*	232	234	+2		+1.0%
ウェアラブル機器	265	289	+24		+9.3%
マイクロデバイス他	819	1,011	+192		+23.4%
PC	133	153	+19		+14.4%
事業間売上収益	-22	-30	-7		-
セグメント利益	174	256	+82	+62	+47.4%
セグメント利益率	12.2%	15.5%			

* ICハンダー事業は2021年4月に譲渡

主要商品の販売動向

*社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

			FY2021 Q1 実績	FY2021 Q2 実績	FY2021 Q3 実績	FY2021 Q4 実績	FY2021 通期 実績	FY2022 Q1実績	FY2022 Q2実績	FY2022 Q3実績	FY2022 通期 予想	
			USD	109.46	110.08	113.71	116.21	112.37	129.64	138.30	141.55	134.00
			EUR	131.91	129.77	130.08	130.45	130.55	138.11	139.28	144.23	140.00
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+85%	+20%	+10%	+10%	+25%	+9%	+31%	+42%	+29%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+74%	+14%	+3%	+4%	+18%	-4%	+12%	+23%	
		本体数量	伸長率	+63%	+4%	-8%	-5%	+8%	-19%	-1%	+20%	+5%
		本体数量	万台					約1,670				約1,750
		内 大容量インクタンクモデル	万台					約1,160				約1,280
		内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル	万台					約480				約440
		内 オフィス共有IJP	万台					約30				約30
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比					41%				37%
		売上収益(円貨)	伸長率	-7%	-4%	-2%	+6%	-2%	+3%	+3%	+2%	+2%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-11%	-7%	-6%	+1%	-6%	-6%	-9%	-8%	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+72%	+7%	+6%	-12%	+12%	+13%	+60%	+40%	+37%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+60%	+1%	-2%	-17%	+5%	+0%	+37%	+21%	
		本体数量	伸長率	+67%	-2%	-5%	-25%	+2%	-3%	+22%	+4%	+10%
		本体数量	万台					約170				約190

財務データ(2021年度・2022年度)

		(億円)									
		FY2021 Q1 実績	FY2021 Q2 実績	FY2021 Q3 実績	FY2021 Q4 実績	FY2021 実績	FY2022 Q1 実績	FY2022 Q2 実績	FY2022 Q3 実績	FY2022 Q4 実績	FY2022 予想
為替レート (円)	USD	109.46	110.08	113.71	116.21	112.37	129.64	138.30	141.55		134.00
	EUR	131.91	129.77	130.08	130.45	130.55	138.11	139.28	144.23		140.00
プリンティングソリューションズ		売上収益	1,923	1,832	2,053	1,990	7,799	1,976	2,155	2,490	9,070
	セグメント利益	266	283	308	205	1,064	210	186	273		950
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,371	1,298	1,503	1,490	5,663	1,431	1,511	1,844		6,570
	事業利益	147	187	229	165	730	164	101	173		610
商業・産業プリンティング	売上収益	551	534	550	500	2,136	545	643	646		2,500
	事業利益	119	96	79	39	333	46	85	100		340
ビジュアルコミュニケーション		売上収益	407	399	436	346	1,590	456	635	601	2,150
	セグメント利益	44	47	40	21	153	64	127	97		310
マニュファクチャリング関連・ウェアラブル		売上収益	495	458	474	491	1,919	560	572	527	2,120
	セグメント利益	56	56	61	56	230	86	94	76		260
全社費用・その他、調整額		売上収益	-4	-6	-2	-6	-20	-14	-10	-6	-40
	セグメント利益	-126	-132	-137	-155	-552	-134	-139	-134		-570
連結合計		売上収益	2,821	2,684	2,961	2,821	11,289	2,978	3,352	3,612	13,300
	事業利益	242	254	272	126	896	226	268	312		950
	ROS	8.6%	9.5%	9.2%	4.5%	7.9%	7.6%	8.0%	8.6%		7.1%
研究開発費		113	117	113	115	460	109	113	111		470
設備投資	プリンティングソリューションズ	51	60	64	107	284	78	92	106		470
	ビジュアルコミュニケーション	9	9	9	13	41	14	13	11		80
	マニュファクチャリング関連・ウェアラブル	14	21	32	45	113	17	30	33		160
	全社費用・その他	6	9	14	13	43	17	17	25		80
減価償却費	プリンティングソリューションズ	94	92	94	95	377	101	104	106		420
	ビジュアルコミュニケーション	26	25	25	25	103	27	26	25		100
	マニュファクチャリング関連・ウェアラブル	21	21	21	22	87	23	24	25		100
	全社費用・その他	19	19	19	17	76	18	17	17		60
営業CF		213	349	310	234	1,108	-123	333	149		700
FCF		98	244	213	110	667	-309	186	23		50

海外売上収益・従業員数

海外売上収益

為替レート(円)	USD	107.54	106.16	104.48	105.86	109.46	110.08	113.71	116.21	129.64	138.30	141.55
	EUR	118.39	124.10	124.51	127.68	131.91	129.77	130.08	130.45	138.11	139.28	144.23

売上収益(億円)	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	対前年同期
米州	598	719	733	827	852	801	810	862	1,000	1,115	1,143	+332
欧州	397	500	587	598	583	571	623	617	573	683	785	+162
アジア・オセアニア	495	739	797	749	868	789	844	772	884	1,005	1,009	+164
海外売上収益計	1,490	1,959	2,119	2,175	2,304	2,162	2,278	2,252	2,457	2,804	2,938	+659
連結合計	1,932	2,459	2,788	2,779	2,821	2,684	2,961	2,821	2,978	3,352	3,612	+651

構成比	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3
米州	31.0%	29.3%	26.3%	29.8%	30.2%	29.9%	27.4%	30.6%	33.6%	33.3%	31.6%
欧州	20.6%	20.4%	21.1%	21.5%	20.7%	21.3%	21.0%	21.9%	19.2%	20.4%	21.8%
アジア・オセアニア	25.6%	30.1%	28.6%	27.0%	30.8%	29.4%	28.5%	27.4%	29.7%	30.0%	27.9%
海外売上収益計	77.2%	79.7%	76.0%	78.3%	81.7%	80.6%	76.9%	79.8%	82.5%	83.7%	81.3%

従業員数

期末従業員数(人)	2020/6末	2020/9末	2020/12末	2021/3末	2021/6末	2021/9末	2021/12末	2022/3末	2022/6末	2022/9末	2022/12末	対前年同期
国内	19,962	19,723	19,620	19,470	19,827	19,805	19,788	19,705	20,128	20,131	20,174	+386
海外	57,107	59,287	62,618	60,474	60,813	60,000	59,917	57,937	59,887	62,742	64,308	+4,391
連結合計	77,069	79,010	82,238	79,944	80,640	79,805	79,705	77,642	80,015	82,873	84,482	+4,777

ESG インデックス 組み入れ・ 格付け

- FTSE4Good Index Series : 19年連続
- FTSE Blossom Japan Index : 6年連続
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index: 初選定
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 : 初選定
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN) : 6年連続
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数 : 5年連続
- SOMPOサステナビリティ・インデックス : 11年連続
- CDP企業調査「Aリスト」企業 (分野:気候変動) : 3年連続
- CDP「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」: 3年連続
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「プラチナ」: 3年連続
- 日本政策投資銀行(DBJ)環境格付け融資「ランクA」: 初選定

ESG 関連表彰・ 銘柄選定 など

- 第3回ESGファイナンス・アワード・ジャパン 環境サステナブル企業部門「銀賞」: 2022年2月
- 健康経営銘柄2022(電気機器業界1位)*1 : 2022年3月
- RBA*2監査の最高位プラチナ認定を海外主力工場(フィリピン・インドネシア)で取得 : 2022年
- 日経225 : 2017年から選定

*1 健康経営の目的・体制 <https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html>

*2 The Responsible Business Alliance 世界最大級のCSR推進企業同盟

GPIFが採用する ESG国内指数5件全てに選定



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

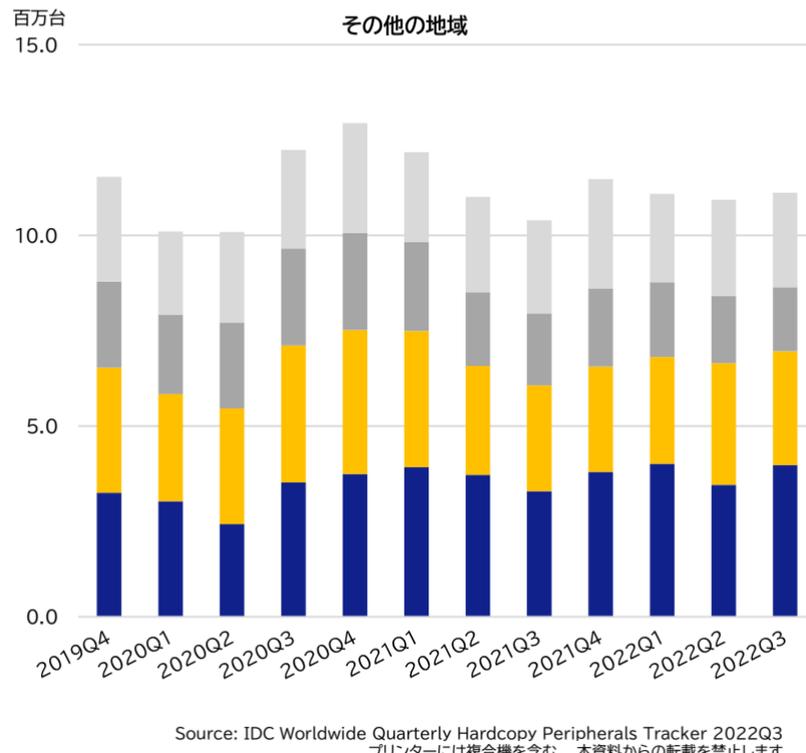
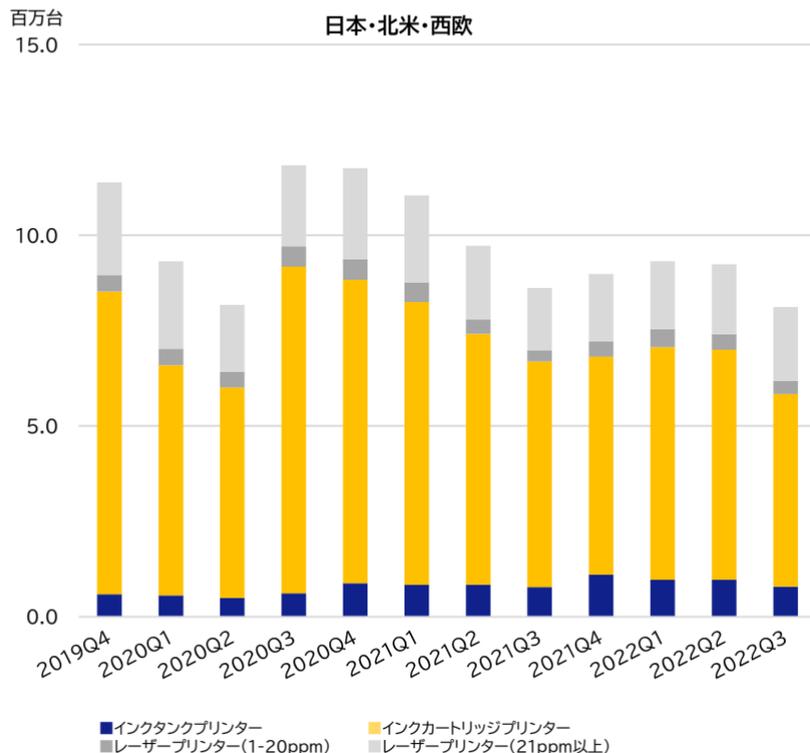
2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



緑字: 2022年4月以降に選定

イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション		
セグメント	プリンティングソリューションズ		ビジュアル コミュニケーション	マニファクチャリング関連・ウェアラブル			
事業 ・ 主要商品	オフィス・ホームプリンティング	商業・産業プリンティング	プロジェクター	マニファクチャリング ソリューションズ	ウェアラブル機器	マイクロ デバイス他	PC
	<p>オフィス・ホームIJP</p> <p>SOHO・ホーム</p> <p>大容量インクタンクモデル インクカートリッジモデル</p> <p>オフィス共有</p> <p>大容量インクパックモデル (RIPS)</p> <p>高速ラインインクジェット複合機 (LII)</p> <p>オフィス向けインクカートリッジモデル</p> <p>SIDM</p> <p>スキャナー</p> <p>乾式オフィス製紙機</p> <p>レーザープリンター</p>	<p>商業・産業IJP</p> <p>完成品ビジネス</p> <p>フォト</p> <p>コーポレート</p> <p>サイネージ</p> <p>ラベルプリンター</p> <p>テキスタイル</p> <p>ラベル印刷機</p> <p>プリントヘッド外販ビジネス</p> <p>IJPプリントヘッド、インク</p> <p>小型プリンター他</p> <p>小型プリンター</p> <p>小型ラベルプリンター</p>	<p>高光束</p> <p>超短焦点</p> <p>スタンダード</p> <p>ホーム</p> <p>小型 ライティング</p> <p>スマートグラス</p>	<p>ロボット</p> <p>スカラ</p> <p>6軸</p> <p>オプション</p> <p>小型射出成形機</p>	<p>エプソンブランド</p> <p>TRUME</p> <p>オリエント</p> <p>ムーブメント</p> <p>セイコービジネス</p>	<p>マイクロデバイス</p> <p>水晶デバイス</p> <p>半導体</p> <p>微細合金粉末</p> <p>表面処理加工</p>	<p>エプソンダイレクト PC</p>

A4サイズプリンターのタイプ別市場推移(暦年)



Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2022Q3
 プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	商品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
商業・産業IJP完成品ビジネス	商業・産業用大判インクジェットプリンター本体・インク・サービスなどを含む
プリントヘッド外販ビジネス	プリントヘッド、インクなどを含む
Epson Connect	エプソンの商品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
OLED	Organic Light Emitting Diode(有機EL)
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

EPSON
EXCEED YOUR VISION